



平成 20 年 5 月 14 日

各 位

会社名 中央物産株式会社  
代表者 代表取締役社長 児島 誠一郎  
(JASDAQ・コード 9852)  
問合せ先 専務取締役 原 幸男  
TEL 03-3796-5075(代表)

平成 20 年 3 月期通期(連結・個別)業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想について、平成 19 年 11 月 15 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」にて発表いたしました通期業績予想との差異を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 11 月 15 日)	122,400	220	610	8,505
今回修正予想(B)	122,479	47	358	6,592
増減額(B-A)	79	△172	△251	△1,912
増減率	0.1%	△78.5%	△41.2%	△22.5%
(ご参考)前期実績 (平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)	95,719	△46	251	207

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 11 月 15 日)	103,000	100	530	8,400
今回修正予想(B)	103,669	△28	251	6,553
増減額(B-A)	669	△128	△278	△1,846
増減率	0.7%	—	△52.6%	△22.0%
(ご参考)前期実績 (平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)	90,417	109	529	264

### 3. 修正理由

連結業績につきましては、アケボノ物産株式会社の事業譲受け、アルボ株式会社、株式会社システムトラストの子会社化により売上高が昨年比 268 億円増加した結果、連結売上高は予想比 79 百万円増の 122,479 百万円となりました。一方経費面における、物流拠点およびシステムの統合費用、本社売却に伴う移転費用の増加により、営業利益は予想比 172 百万円減の 47 百万円、外貨預金の為替相場の変動（円高）などによる為替差損の増加により、経常利益は予想比 251 百万円減の 358 百万円、当期純利益は予想比 1,912 百万円減の 6,592 百万円となりました。

単独業績につきましては、売上高は昨年比 132 億円増加した結果、予想比 669 百万円増の 103,669 百万円となりました。経費面における、大阪・関東エリアの物流拠点およびシステム統合費用の増加により、営業利益は予想費 128 百万円減の△28 百万円、子会社からの配当金の減少により経常利益は予想比 278 百万円減の 251 百万円、当期純利益は予想比 1,846 百万円減の 6,553 百万円となりました。

なお、当期純利益の前年に対する大幅な増加は、平成 19 年 12 月の本社売却に伴う特別利益が計上されたことによります。予想に対する減少は、物流拠点統合に伴う資産の除売却損失、年金制度変更に伴う一時費用および、ホテル事業撤退に伴う特別退職金による減少であります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上